

令和6年（2024年）ベヨネース列岩の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

気象衛星ひまわりによる観測では、噴火は認められませんでした。

海上保安庁が５月、７月及び１２月に実施した観測では、変色水域や浮遊物等の特異事象は認められませんでした。

○ 噴火警報・予報の状況、2024 年の発表履歴

2024 年中変更なし	噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報（周辺海域警戒）
-------------	----------------------------------

○ 2024 年の活動概況

気象衛星ひまわりによる観測では、噴火は認められませんでした。

海上保安庁が５月、７月及び１２月に実施した観測では、変色水域や浮遊物等の特異事象は認められませんでした。



図1 伊豆・小笠原諸島の活火山分布及びベヨネース列岩の位置図

ベヨネース列岩は、青ヶ島の南南東約 65km に位置します。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は海上保安庁及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。



図2 ベヨネース列岩の状況

- ・ 5月6日、7月18日及び12月25日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、ベヨネース列岩及び明神礁付近で変色水域や浮遊物等の特異事象は認められませんでした。

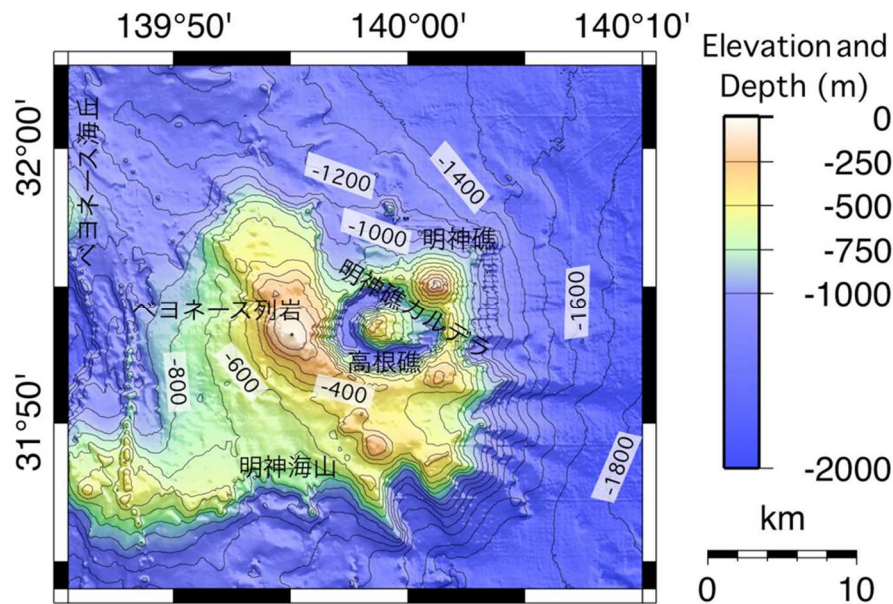


図3 ベヨネース列岩付近の海底地形図

この地域の活火山名は、ベヨネース列岩、明神礁、高根礁などを含む火山地形を総称して「ベヨネース列岩」と呼んでいます。

明神礁の最浅部は水深50m、北緯31度55.1分、東経140度01.3分です。

(日本周辺海域火山通覧(第4版)(海上保安庁, 2012)より)

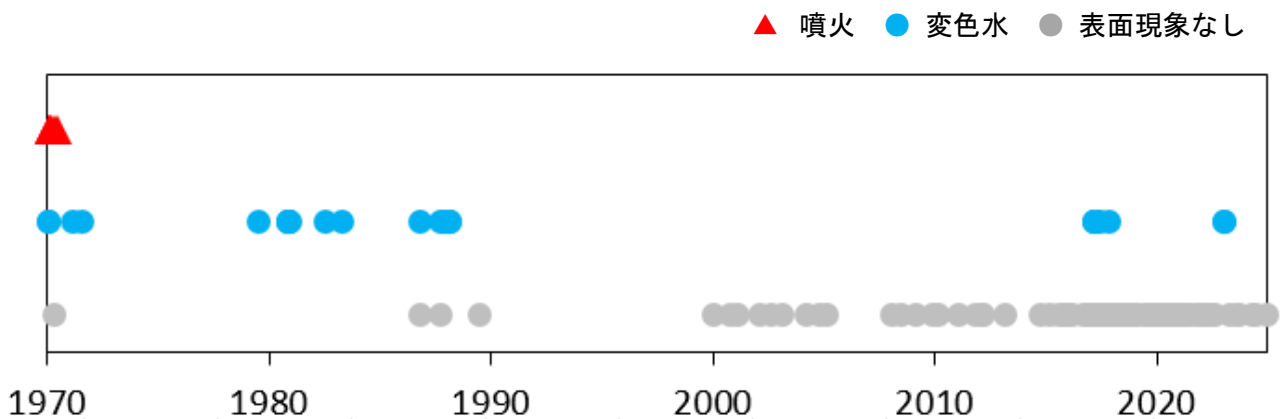


図4 ベヨネース列岩 1970年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。▲、●はそれぞれ噴火及び変色水が認められた観測を示します。●は変色水等が認められなかった観測を示します。

海上保安庁、海上自衛隊及び漁船等からの情報による。